

## 『みんなのなかで自分のよさを生かす』

11月13日と14日の二日間、2学期の大きな行事の一つ『音楽会』を実施いたしました。多くの保護者ご家族、そしてご来賓の皆様にお出でいただき、子どもたちにお励ましのお言葉をいただきました。この場をお借りしまして、暑く御礼を申し上げます。

さて、運動会に続いて本校第1回の音楽会の実施。6年生の移動教室等も含めれば、あわただしさもひとしおなのですが、このような行事を通して培われる大切な力も見過ごすことはできない重要なものです。

「みんなのなかで自分のよさを生かす」という自己肯定感の実感をもつ。そしていま一つは、みんなが共通の目標をもち、それぞれのよさを生かしながら、協力して「自ら学び、自ら問題を解決していく力を育てる」ということです。

音楽会の前に子どもたち名次のような話をしました。

---

『今週は音楽会です。今、私たちは朝早く学校に来て、太鼓の練習をしています。みなさんも力を合わせて、音楽会を成功させましょう。朝のあいさつをします。お早うございます。』（おはようございます）

いま、6年生のお話にもありましたが、今週は音楽会です。

そこで、今日は「目と耳と心を使って、音のキャッチボール、心のキャッチボールをしよう。」という話をします。

今、校舎の中を歩いていると、今週の音楽会の練習で、いろいろな学年の素敵な歌声や合奏が聞こえてきます。今できたての音楽。今できたての裏声です。

普段皆さんがテレビやCDなどでできている音楽は、もう出来あがっているもの、皆さんは聞くだけで、創ることはできません。

でも今、桃五小で聞こえてくる、皆さんの歌声や合奏は、1年生も2年生も、3年生も4年生も、5年生も6年生も、今の今、皆さんが心を合わせて創ったものです。だから、校舎のなかを歩いても、思わず立ち止まり、聞き入ってしまうのです。

1年生は「元気な歌声」。2年生は「楽しさが伝わってくる歌声」。3年生は「明るい歌声」。4年生は「気持ちはずんでくるような歌声」。5年生は「爽やかな気持ちになれる歌声」。6年生は「美しい引き込まれるようなう歌声」

これは、それぞれの学年の人たちが、目で見えて合わせ、耳で聞いて感じ、心で受けとめて、みんなの心、みんなの音をひとつにして創りだした歌声、演奏、なのです。

これは、みんなの『心のキャッチボール』人の声人の心聞き、自分の声と心をそこに合わせていく。心と音を伝えあいキャッチボールのように感じ合い伝え合いながら、ひとつの歌や合奏の音楽を創っていく。

だから、本番当日にうまく演奏することももちろんですが、それまでの毎日の練習で、やっぱり、目と、耳と、心、を使い心のキャッチボール、音のキャッチボールをしながら、学年のみんなと心をつなげて、音のたしざん、心のたしざんをたくさんしておいてほしいのです。

そして、きっとその『心のたしざんがちゃんとでき始めているから、学校のな

かに流れてくる、皆さんの歌声は、聴く人の心を打つのです。

さらにもう一つ、CD やテレビと違うところは、演奏する人だけではなく、聴いている人も一緒に音楽を創っているということです。

演奏する人が心をこめて音楽を届けようとする。それを聞いている人が心をこめて聞き、心響かせて、心のなかで応援する。その気持ちが演奏している人に伝わってもっと素敵な演奏になる。

だから音楽会は、音と心のキャッチボールなのです。

1年生も2年生も、3年生も4年生も、5年生も6年生も、みんなが演奏する人でもあるし、聴く人でもあります。桃五小の591人全員が心をつにしたら、素晴らしい音楽会になりますね。みなさん、目と耳と心で、素敵な音楽会にしましょう。

(はあい。の返事が戻ってきました。)

集団のなかで自分のよさを自覚し生かし、友だちのよさを認めそれを自分の力としてさらに高めていく。自分も人も大切にしながら、自分を肯定し、人を尊重して生きていく力を高めていくことが今の子ども達には必要です。

未年の本年も一年間ご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。申年の平成28年も、職員一同、子どもたちの幸せのために全力を尽くしてまいります。どうかよろしくお願い申し上げます。

